2018年11月19日

各 位

会社名 ベルグアース株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 一彦
(JASDAQ・コード:1383)
問合せ先 常務取締役経営管理部管掌 薬師寺 朝徳
(TEL 0895-20-8231)

業務提携に関するお知らせ

当社は、2018年11月19日開催の取締役会において、中国廈門百利種苗有限公司（以下、廈門百利種苗）との間で業務提携契約を締結することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の背景及び目的

当社および廈門百利種苗は、双方の有する経営資源、ビジネスモデル、ネットワーク等を相互に活用することで、事業の補完関係のみならず新たな市場の創出や付加価値の高いサービスの提供によって、持続的な成長に向けた取り組みが必要と考え、協業体制の検討を進めていくことを確認しました。

当社は、接ぎ木したトマト、キュウリなどの野菜苗の生産・販売を全国展開しており、これらの先進的技術・ノウハウを今後はアジアをはじめ海外でも応用・展開して農業界に貢献したく考えています。

一方、廈門百利種苗は、2011年7月に中国廈門市に設立された「野菜の種苗」会社です。業務内容は、野菜育苗工場での野菜の生産・販売、農業資材の仕入れ販売、高級野菜品種の開発及び仕入販売と普及、農業観光農園の経営、野菜栽培技術研修及び指導等であります。

両社が協働することにより、当社は中国南部での事業展開や野菜品種の共同開発等が可能になりますし、廈門百利種苗は、日本の先進的技術・ノウハウの習得によって高級野菜の生産販売が可能となることや、技術者・指導者の育成・強化が図れることにより、お互いの事業拡大・強化につながるものと考え、今回の合意に至りました。

2. 業務提携の内容

(1) 両社は、各主体がそれぞれ投資母体として広東百利種苗有限公司（仮称）を共同設立することを協議する。当該合弁会社の設立は、中国の関連法令に従うものとし、詳細については、別途契約書を締結する。

(2) 廈門百利種苗は当社に協力し、中国で野菜苗事業全般に対してマーケティングを行う義務を有する。

(3) 両社が認めた適切な時期に、双方の技術者が相互の交流、学習する。なお、当社が持つ特許技術（中国特許ZL021270228、ヌード苗の養生・順化技術）を、中国福建省、広東省、広西省、雲南省、海南省に限り、廈門百利種苗に対して使用を許可する。

(4) 両社は、農業資材、種子・品種などを含む資源を共用し、互惠互利の原則に基づき取引を行う。

3. 業務提携の相手先の概要

会社名 : 中国廈門百利種苗有限公司

代表者 : 康 英徳

所在地 : 中国廈門市同安区竹坝華僑經濟開發区

事業内容 : 野菜育苗工場の運営、農業資材の仕入れ販売、高級野菜栽培品種開発、仕入れ・販売、観光農園の運営、野菜栽培技術研修及び指導等

4. 今後の見通し

本提携が、当期の連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上